

基幹系システム再構築の支援業務

概要

業務名	基幹系システム調達仕様書作成および調達支援業務委託
発注者	中核市
業務内容	基幹系業務（約16業務）を対象とする現行基幹系システムを再構築するにあたり、下記を実施。 ① 現状業務の把握、課題抽出 ② 情報提供依頼（簡易バージョン）の実施 ③ 調達計画書の作成 ④ 業務見直し ⑤ 情報提供依頼（詳細バージョン） ⑥ 要件定義の実施支援 ⑦ 費用積算の実施 ⑧ 調達関連資料の作成、業者選定支援
業務期間	平成29年～30年度（実質、18カ月）

実施のポイント

- 全ての業務を対象に業務の見える化を行うと膨大な作業となり、カスタマイズを助長する可能性があるため、独自の機能や現行システムから追加する機能に絞って、業務の見える化を実施。
- RFI等を通して、ベンダの保有するパッケージやソリューションを把握するだけでなく、所管課の意向やシステム連携の容易性等を考慮した上で、調達範囲や調達の単位を決定（今回は、最終的に一括で調達）。
- 独自のカスタマイズ判定基準を設定し、各業務所管課の判断の下、カスタマイズの範囲を決定。
- 所管課が最新のパッケージを理解する場として、デモンシナリオを作成した上で、デモンストレーションを実施。

業務の流れ

実施内容

①現状業務の把握、課題抽出

- ・現行システムの把握
- ・現行システムの課題整理（ヒアリング）
- ・独自・追加機能の見える化（業務フロー作成）

②第1回情報提供依頼（RFI）の実施

- ・現行システムの機能をベースに、パッケージ保有、受託可能な範囲、パッケージ機能の適合状況、最新ソリューション等について情報を収集。

③調達計画書の作成

- ・基本的な方針、調達の範囲、調達の単位、カスタマイズに対する考え方、概算費用規模、スケジュール等の計画を策定

④業務見直し

- ・各社のパッケージの適合結果を基に、極力カスタマイズを実施しないという方針で、必要なシステム機能を整理（見直し）

⑤第2回情報提供依頼（RFI）の実施

- ・次期基幹系システムの詳細の要件を設定した上で、費用積算を主目的としてRFIを実施。
- ・あわせて、デモンストレーションを実施。

⑥要件定義の実施支援

- ・RFIの結果を受けて、最終的なシステム機能要件を策定（カスタマイズの範囲を確定）
- ・最終的な非機能要件を策定

⑦費用積算の実施

- ・RFIの結果や各ベンダヒアリング等の結果を踏まえて、最終的な経費積算を実施。

⑧調達関連資料の作成、業者選定支援

- ・前述の検討を踏まえて最終的な調達関連資料（募集要項、仕様書、評価基準等）を策定
- ・調達時のベンダからの質問対応、提案書の評価支援等を実施。